

報告事項 1.

2017年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給，及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 石油化学部会

次世代の化学品製造のためのプロセスや触媒，原料多様化などを見据えた研究開発の現状を調査するために以下の活動を行った。

- 1) 「触媒アンモニア合成のこれまでとこれから」について有識者からの情報収集を2017年10月25日(水)に実施した。
- 2) 「透過型電子顕微鏡を用いたその場観察」について有識者からの情報収集を2018年2月7日(水)に実施した。

(2) 製品部会

- 1) ガソリン分科会では，石油連盟が行っているJIS K 2280「石油製品—燃料油—オクタン価及びセタン価試験方法並びにセタン指数算出方法」の改正に協力した。
- 2) 燃料油分科会では，第21回CFRセタン価照合試験を行った。
- 3) アスファルト分科会では，TLC/FID法によるアスファルト組成分析試験に用いる試薬変更の検討を行った。
- 4) 絶縁油分科会では以下の活動を行った。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
 - b) Stray gassing（これまでよりも比較的低温領域で可燃性ガスを多量に生成する現象）に関する文献調査と試験方法の検討を行った。
 - c) 電気絶縁油ハンドブック（講談社発行，石油学会編）の追補版作成の検討を行った。
 - d) 生分解性電気絶縁油のJIS制定に向けた検討を行った。
 - e) JIS C 2320「電気絶縁油」及びC 2101「電気絶縁油試験方法」の改正に向けた検討を行った。
- 5) 試験分析分科会では以下の活動を行った。
 - a) 石油製品中のナトリウム分，カリウム分の分析にICP発光法を適用する検討を行った。
 - b) エンジン油の軽油希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。
 - c) エンジン油のガソリン希釈率試験方法にキャピラリーカラムを適用する検討を行った。
 - d) ガスクロマトグラフを用いたガソリンの全成分試験方法について検討を行った。
 - e) 「最新の分析機器の動向及び生産工場」の現地調査を(株)堀場製作所にて2017年10月20日(金)に実施した。

(3) 装置部会 装置委員会

- 1) 設備保全分科会では，「プラント設備に係わる建設検査保全」に関する新技術及び「製油所トラブル事例報告」についてまとめ，第2回設備技術専門委員会にて報告した。
- 2) 計装分科会では，計装技術の習得に必要な講座を調査し一覧を更新した。
- 3) 電気分科会では，地絡保護と接地設計に関する基本事項等の作成と「電気設備における未発見リスクの発掘と重大事故の撲滅—変電室火災—」の中間まとめを行い，電気研究討論会にて報告した。また，「電気設備維持規格関連フォローアップ，トラブル事例収集及びその他調査研究」

My研究室ライフ	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	5
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
讚嘆石油史!	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
趣味談議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
JPIJSだより	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
エネルギー知ってるはず	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	10
新技術紹介	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
おすすめの一冊	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4
目次裏統計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
全頁数	100	106	98	82	92	90	88	82	79	84	76	82	1059

2) 特集記事を以下のとおり掲載した。

- *2017年4月号「ようこそ石油・石油化学業界へ2017」
- *2017年5月号「データ駆動型の材料研究開発の推進」
- *2017年6月号「船舶の省燃費化技術」
- *2017年7月号「IoTが石油・石油化学に与えるインパクト」(小特集)
- *2017年9月号「2016年度受賞講演(1)」
- *2017年10月号「2016年度受賞講演(2)」
- *2017年12月号「二酸化炭素の再資源化技術」
- *2018年1月号「ファインケミカルズ合成のための触媒研究最前線」
- *2018年3月号「石油分解菌による土壌浄化」

3) その他、国内・海外の最近のニュース、論文誌掲載論文目次、学会活動を報告する「学会の窓」などを掲載した。

1-2-2 広報

- (1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。
- (2) ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。
- (3) 会員を始めとするWeb閲覧者向けに実施している「ペトロテック」の過去掲載記事を検索・閲覧するサービスとして、第40巻第6号までの記事を公開した。

1-2-3 講演会等(移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会)

- (1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生(院生を含む)や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。2017年度は21の大学・機関において講義数64コマを実施した。本年度の聴講延べ人数は3,300人であった。開始した1997年度からの累計は総コマ数1,218コマ、聴講延べ人数94,000人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 化学系学協会北海道支部合同夏季研究発表会を2017年7月22日(土)に共催した(旭川市)。
- 2) 第10回実践的石油学講習を企画し、2017年10月20日(金)に実施した(室蘭市)。
- 3) 触媒学会北海道支部札幌講演会を2017年12月4日(月)に共催した(札幌市)。
- 4) 化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を2018年1月16日(火)、17日(水)に共催した(札幌市)。
- 5) 第17回北海道支部講演会を企画し、2018年1月26日(金)に実施した(北見市)。

[東北支部]

- 第34回東北支部講演会を企画し、2018年2月8日(木)に実施した(郡山市)。

[東海支部]

- 1) 第6回東海支部講演会を企画し、2017年9月7日(木)に実施した(名古屋市)。
- 2) 第1回学生企業見学会(製油所見学)を企画し、2017年10月26日(木)に実施した(四日市市)。
- 3) 東海地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として2017年8月下旬から9月上旬に行われたインターンシップ事業に協力した。

[関西支部]

- 1) 堺LNG(株)にて企業見学会(LNG施設見学)を2017年6月13日(火)に実施した(堺市)。
- 2) 第25回学生企業見学会(製油所見学)を2017年9月29日(金)に実施した(堺市)。
- 3) 第24回関西支部セミナーを2017年10月20日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 4) 第26回関西支部研究発表会を2017年12月1日(金)に日本エネルギー学会関西支部と共催した(豊中市)。

[中国・四国支部]

- 1) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 第22回中国・四国支部技術交流会を企画し、2018年1月19日(金)に実施した(倉敷市)。
- 3) 中国・四国地区の4製油所・事業所にて学部・大学院生を対象として2017年夏に行われたインターンシップ事業に協力した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 第37回九州・沖縄支部講演会を企画し、2017年4月28日(金)に実施した(福岡市)。
- 2) 第38回九州・沖縄支部講演会を企画し、2017年10月12日(木)に実施した(北九州市)。
- 3) 第39回九州・沖縄支部講演会を企画し、2018年1月19日(金)に実施した(北九州市)。

(3) JPIJS講演会

- 1) 第22回若手研究者のためのポスターセッションを、2017年5月23日(火)に開催の第66回研究発表会に併せて開催した。62件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を2件選定し、表彰した。
- 2) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において、国際セッションを企画し、最優秀賞を選定し、2名に授与した。
- 3) ペトロテック各号に「JPIJSだより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国における活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- a) 第57回オーロラセミナーを2017年7月23日(日)、24日(月)に触媒学会と共催した(北海道上川郡)。
- b) 北海道・東北地区講演会を2018年1月26日(金)に開催した(仙台市)。

[関東地区]

関東地区企業見学会(製油所見学)を2017年11月10日(金)に開催した(市原市)。

[関西地区]

- a) 精製部会プロセス分科会協力のもと、JPIJS関西地区討論会「石油産業の役割と若手エンジニアの未来像」を2017年11月2日(木)に開催した(浜松市)。
- b) コロキウム2017を2017年8月28日(月)、29日(火)に日本エネルギー学会関西支部、石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。

[九州地区]

第28回若手ケミカルエンジニア討論会を2017年7月14日(金)、15日(土)に化学工学会九州支部と共催した(水俣市)。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 非在来型シンポジウム「我が国のポテンシャルを探る」を企画し、2018年3月5日(月)に実施した。
- 2) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 2017年度精製講演会「石油業界を取り巻く激変の時代への提言」を企画し、2017年10月26日(木)に実施した。
- 2) 第43回精製パネル討論会を企画し、2018年2月19日(月)に実施した。
- 3) JPIJS関西地区討論会の企画に協力し、2017年11月2日(木)に実施した。
- 4) 第42回精製パネル討論会会議録〔2017年2月17日(金)開催〕を2017年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において「水銀除去」「バイオマス利活用研究の展開」「ポリマー・オリゴマー」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 第25回触媒シンポジウム「新しい触媒設計・触媒技術」を企画し、2017年12月15日(金)に実施した。

[製品部会]

- 1) 2017石油製品討論会「石油製品のこれからを最新技術動向とともに考える」を企画し、2017年12月5日(火)に実施した。
- 2) 絶縁油分科会では、第37回絶縁油分科会研究発表会を企画し、2017年6月9日(金)に実施した。

[装置部会 装置委員会]

- 1) 装置部会では、鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において「装置・設備保全」のセッションを企画し、協力した。
- 2) 回転機分科会では、第17回 回転機研究討論会を企画し、2017年10月10日(火)に実施した。
- 3) 保安分科会では、第1回「2017年度保安セミナー～各社のシステムと実施事例から学ぶ変更管理～」を企画し、2017年11月27日(月)に実施した。
- 4) 配管分科会では、第14回配管技術セミナー「初級編～プラントの配管材料基準に関する技術の習得」を企画し、2017年11月29日(水)、30日(木)に実施した。
- 5) 設備保全分科会では、第48回装置研究討論会「未来を志向する設備管理」を企画し、2017年12月6日(水)、7日(木)に実施した。
- 6) 計装分科会では、第34回計装研究討論会を企画し、2018年3月1日(木)に実施した。
- 7) 電気分科会では、第18回電気研究討論会「電気安全電気安全 ～戦略的な保全の取り組み～」を企画し、2018年3月9日(金)に実施した。

[経営情報部会]

鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において「石油・石油化学プラントにおけるAI技術活用事例と課題」のシンポジウムを企画し、協力した。

[新エネルギー部会]

- 1) 新エネルギー部会講演会「低炭素社会の実現に向けて～国内外の情勢からCO₂有効利用の革新技術まで」を企画し、2017年9月28日(木)に実施した。
- 2) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において「次世代バイオ燃料技術」のセッションを企画し、協力した。

1-2-4 規格の制定・普及

[製品部会]

- 1) ガソリン分科会では、5R-5-13 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル] の改訂を

実施した。

2) ガソリン分科会

次の規格類の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 5S-23-11 [エンジン油の軽油希釈率試験方法] 2017年12月14日改訂
- * 5S-24-11 [エンジン油のガソリン希釈率試験方法] 2017年12月14日改訂
- * 5S-64-02 [石油製品—塩素分試験方法—微量電量滴定法] 追補

3) 潤滑油分科会

次の規格の追補を公開した。

- * 5S-15-05 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法]

4) 試験分析分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 5S-62-11 [石油製品—金属分試験方法]

[装置部会]

(1) 装置委員会

1) 機器分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-8-04 [塔類プラットホーム及びラダー]
- * 7S-34-96 [炭素鋼製マンホール]
- * 7R-51-97 [空冷式熱交換器の構造]
- * 7R-72-06 [堅形容器用ラグサポート]

次の規格の改訂を実施した。

- * 7S-7-17 [塔頂ダビット] 2017年4月27日改訂

2) 配管分科会

次の規格の見直しを実施した。

- * 7S-41-05 [配管用うず巻型ガスケット]
- * 7S-46-11 [鋳鋼製フランジ型及び突合せ溶接型弁]
- * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格]
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼鉄ボス, ブランチアウトレット及びプラグ]
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法]

次の規格の改訂を実施した。

- * 7S-73-17 [石油工業用オリフィスフランジ] 2017年4月27日改訂

(2) 設備維持規格委員会

次の規格の制定, 改訂及び追補の公開を実施した。

- * 7S-94-18 [設備維持管理士に関する技術者の認証規格] 2018年2月21日制定
- * 8S-5-17 [計装設備維持規格] 2017年11月1日改訂
- * 8S-1-14 [配管維持規格] 追補
- * 8S-2-16 [設備維持規格] 追補

1-2-5 設備維持管理士

(1) 資格付与・講習会

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い, 合格者に設備維持管理士の資格を付与した。また, 規格内容に関する講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- 1) 回転機維持規格講習会, 回転機維持管理士更新講習会を2018年1月10日(水)に東京で実施した。
- 2) 配管・設備維持規格講習会を2018年1月12日(金)に東京で, 2018年1月15日(月)に京都でそれぞれ実施した。

- 3) 計装設備維持規格講習会, 計装設備維持管理士更新講習会を2018年1月16日(火)に東京で実施した。
- 4) 電気設備維持規格講習会, 電気設備維持管理士更新講習会を2018年1月19日(金)に東京で実施した。
- 5) 設備維持管理士認定試験を2018年2月11日(日)に東京及び京都で実施した。その結果, 配管・設備維持管理士として22名(受験者数202名), 回転機維持管理士として42名(受験者数63名), 電気設備維持管理士として30名(受験者数57名), 計装設備維持管理士として41名(受験者数90名)をそれぞれ認定した。
- 6) 配管・設備維持管理士更新講習会を2018年2月16日(金)に東京で, 2018年2月19日(月)に京都でそれぞれ実施した。
- 7) 設備維持管理士更新については, 認定証の有効期限が2018年3月31日及び2019年3月31日の認定者が対象で2018年3月16日(金)開催の設備維持管理士認定委員会にて更新者の承認を行った。その結果, 配管・設備119名, 回転機29名, 電気設備12名, 計装設備35名をそれぞれ更新認定した。

(2) 表彰

第3回設備維持管理士育成優良事業所表彰式を鳥取大会で行い, 2つの事業所を表彰した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会, 石油・石油化学討論会, 論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究, 技術開発の一層の推進を図るため, 研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として, 研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 第66回研究発表会を2017年5月23日(火)に開催した。
- (2) 鳥取大会「持続的発展のための石油学」(第47回石油・石油化学討論会)を2017年11月16日(木)～18日(土)に開催した。
- (3) 鳥取大会(第47回石油・石油化学討論会)において第4回JPI-KSIEC Joint Symposiumを実施し, 韓国工業化学会(KSIEC)からは3名が参加し研究成果を発表した。
- (4) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し, 冊子は公共会員(20部)及び外部に各号28部を頒布した。2017年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルの公開を本年度より2ヶ月早め, 現在は第61巻第3号までを公開した。昨年1年間の論文ダウンロード件数は約75,000件(うち海外は約40,000件)となっている。特集論文を以下のとおり掲載した。

- * 第60巻第5号 「京都大会」特集
- * 第60巻第6号 「ゼオライト触媒を用いた低級オレフィン製造(1)」特集
- * 第61巻第1号 「ゼオライト触媒を用いた低級オレフィン製造(2)」特集
- * 第61巻第2号 「マイクロ波科学」特集

巻数 号数	第60巻				第61巻		合計
	3	4	5	6	1	2	
総合論文	2	2	—	3	4	6	17
一般論文	3	2	7	3	2	6	23
ノート	1	—	—	—	—	—	1
技術報告	—	—	—	—	—	2	2
レター	—	—	—	1	—	—	1
件数合計	6	4	7	7	6	14	44
全頁数	45	43	60	69	49	120	386

2-2 研究助成

2018年度の助成金交付対象者を以下の3名に決定した。

- (1) 「多様な炭素資源からブタジエン直接合成のための遷移金属類含有ゼオライト触媒の活性サイト解明」 (助成額 100万円) 北九州市立大学 准教授 今井 裕之 氏
- (2) 「CO₂を低級アルコールに変換可能な新規Yolk-shell構造触媒の開発」 (助成額 50万円) 大阪大学 助教 桑原 泰隆 氏
- (3) 「金属酸化物ナノ粒子を内包したゼオライト構造触媒による燃料油からの化学品合成」 (助成額 50万円) 北海道大学 助教 吉川 琢也 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程, 野口記念賞表彰規程により, 学会賞3件, 論文賞2件, 技術進歩賞3件, 奨励賞4件, 野口記念奨励賞2件の授賞を決定した。

【収益事業等】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において, (株)石油産業技術研究所から「新規自動車の制御技術に燃料性状が与える影響調査」について受託し, 調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において, (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し, 調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

- (1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について, 出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。
「新版 石油精製プロセス」 「石油化学プロセス」
- (2) 「石油化学プロセス」 (2001年刊行) の改訂版刊行に向け, 編集委員会のもと作業を進めた。

2-2 標準試料認定・販売

2017年度の認定数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,501), 窒素分(250), ニッケル・バナジウム分(25), FIA用(17), 軽油硫黄分(552), 標準ガソリン(89), 引火点(1,151), 分離確認用標準(24) 総計は3,609であった。

3. 溶接士の認定事業

- (1) 2008年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。2017年度の認定者数は695名で, 現在までの累計認定者数は141,236名である。
- (2) 近畿地区溶接功労賞受賞者2名の表彰を2017年10月20日(金)に行った。

4. 会員交流事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会では, CFRオクタン価測定技術及びCFRエンジン整備技術の維持向上のため, CFRオクタン価エンジン整備講習会を2017年10月30日(月), 11月10日(金), 20日(月)に開催した。
- (2) 製品部会潤滑油分科会では, JPI-5S-15-05 [陸用ディーゼルエンジンピストン評価法] を関連の業界技術者に普及するため, 第44回レイティングシンポジウムを2017年11月9日(木), 10日(金), 22日(水)に開催した。
- (3) 装置部会回転機分科会では, 以下の活動を行った。

- 1) ワイヤレス計装システムの回転機周りへの適用の可能性をテーマに新技術発表会を2017年4月28日(金)に開催した。
 - 2) メカニカルシール技術講座を2017年6月21日(水)～23日(金), 2017年7月12日(水)～14日(金), 2017年11月8日(水)～10日(金)に開催した。
 - 3) 遠心ポンプ教育講座を2017年7月10日(月), 11日(火)に開催した。
 - 4) 関連各社の要望により新たに往復動圧縮機教育講座を2018年2月22日(木), 23日(金)に開催した。
 - 5) コスモ石油(株)堺製油所を2018年2月2日(金)に訪問し, 情報交換・見学などを行った。
- (4) 装置部会計装分科会では, 以下の活動を行った。
- 1) 若手育成を目的に計装技術事例交換会を2017年9月1日(金)に開催した。
 - 2) YKK AP(株)黒部製造所を2017年10月26日(金)に訪問し, 情報交換・見学などを行った。
 - 3) 国内の防爆に関する最新動向についての勉強会を2018年1月23日(火)に開催した。
- (5) 装置部電気分科会では, 以下の活動を行った。
- 1) ケーブル火災メカニズムに関する勉強会を2017年7月6日(木)に開催した。
 - 2) 電気技術者に必要な防爆の基礎知識に関する若手勉強会を2017年9月12日(火)に開催した。
 - 3) 施設研修会として, (株)ジーエス・ユアサ コーポレーション (鉛蓄電池製造) と島津エミット(株)瀬田工場 (電動弁・ポンプ製造) を2017年10月19日(木), 20日(金)に訪問し, 情報交換・見学などを行った。
- (6) 装置部設備保全分科会では, JX喜入石油基地(株)を2017年7月28日(金)に訪問し, 情報交換・見学などを行った。
- (7) 講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。
- (8) 維持会員向けに事業内容等を説明する維持会員交流会を2017年11月29日(水)に開催した。

5. 会員向けサービス

毎月1回, 普通会员及び維持会員あてに本会のトピックス, 行事案内, 募集などを記載したメールマガジンを発信した。

【法人管理】

1. 庶務事項

2017年5月23日就任の新役員の登記手続きは7月に終了した。

2. 法人運営

- (1) 法人管理・運営にあたり, 以下の会議を開催した。
 - 理事会 (4回), 運営会議 (5回), 顧問会 (1回), 役員等候補者選定委員会 (3回), 財務委員会 (4回), 職員人事委員会 (3回)
- (2) 下記規程類を制定, 改定及び廃止とした。
 - (制定)
 - * 国際研究力に関する受託事業実行委員会規程
 - * 研究者支援育成に関する受託事業実行委員会規程
 - * 広報・会員拡大委員会規程
 - * 特定費用準備金等取扱規程
 - (改定)
 - * 細則 (入会金, 委員会組織の統廃合, 特定費用準備金取扱)
 - * 会員の慶弔規則
 - * 研究室グループ学生会員規則
 - * 役員等候補者選定規程

- * 役員等候補者選定規則
- * 論文誌編集委員会規程
- * 表彰規程
- * 表彰運営規則
- * 研究・技術企画委員会規程
- * 溶接士検定委員会規程
- * 受託事業委員会規程
- * 教育委員会規程
- * 文書取扱規程

(廃止)

- * 事業推進会議規程
- * 事業推進会議委員候補者選考規則
- * 広報委員会規程
- * 国際委員会規程
- * 会員拡大委員会規程

(3) 会員増強活動として、次の取り組みを行った。

- 1) 前年度に引き続き会員拡大年間として入会金を免除した。
 - 2) 普通会员初年度会費半額キャンペーンを実施した。
 - 3) 主に企業の新入社員、若手社員を対象に、ペトロテック第40巻第4号に特集記事「ようこそ石油・石油化学業界へ2017」を掲載し、前年度に続き、ペトロテック編集委員会と会員拡大委員会が連携して入会勧誘活動を実施した。
 - 4) 化学工学会と会誌での会員募集広告の交換を行い、2018年2月号に掲載した。
 - 5) 本会役員を中心に維持会員の勧誘を行った。
- (4) 石油学会表彰規程により、学会功労賞5件の授賞を決定した。
- (5) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

2017年度末（2018年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	2017年 3月31日現在	2017年度会員数の増減			2018年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	37	2	1	1	38
普通会員	3056	125	187	△62	2994
学生会員	224	93	107	△14	210
小計	3317	220	295	△75	3242
維持会員					
特級	0	1	0	1	1
1級	17	0	3	△3	14
2級	9	0	0	0	9
3級	29	1	0	1	30
4級	22	1	1	0	22
5級	192	5	3	2	194
小計	269	8	7	1	270
公共会員	22	0	2	△2	20
総合計	3608	228	304	△76	3532

【委員会・部会の会合数】

2017年度の会合数は次表のとおりである（傘下の委員会を含む）。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	部会連絡会	2
理事会	4	資源部会	3
顧問会	1	精製部会	2
運営会議	5	プロセス分科会	10
財務委員会	4	ペトロリオミクス分科会	5
役員等候補者選定委員会	3	石油化学部会	3
受託事業委員会	3	製品部会	3
革新的石油精製技術シーズ発掘事業支援WG	9	ガソリン分科会	20
研究助成委員会	1	燃料油分科会	17
職員人事委員会	3	潤滑油分科会	11
創立60周年記念大会実行委員会	3	アスファルト分科会	6
支部長会議	1	絶縁油分科会	24
会員拡大委員会	3	試験分析分科会	11
石油化学プロセス編集委員会	1	装置部会	3
ペトロテック編集委員会	11	設備維持規格委員会	29
Working Group 委員会	55	装置委員会	3
論文誌編集委員会	6	機器分科会	2
研究・技術企画委員会	4	回転機分科会	19
海外協力分科会（合同シンポジウム）	1	配管分科会	16
海外協力分科会（研究者受入）	2	計装分科会	14
表彰委員会	2	電気分科会	8
表彰推薦委員会	1	設備保全分科会	6
表彰選考委員会	7	保安分科会	7
教育委員会	4	経営情報部会（含むWG）	15
設備維持管理士認定委員会	29	新エネルギー部会	4
溶接士検定委員会	1	次世代バイオ燃料油分科会	4
標準試料委員会	6		
		合 計	418

【講演会, 討論会, 研究発表会並びに見学会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
2017年						
5	23 24	火 水	第58回通常総会, 第60回年会－特別講演, 受賞講演 受賞講演, 依頼講演, 第66回研究発表会, 第22回JPIJSポスターセッション	東京	10 41 62	295
6	9	金	第37回絶縁油分科会研究発表会	京都	10	145
9	28	木	新エネルギー部会講演会「低炭素社会の実現に向けて ～国内外の情勢からCO ₂ 有効利用の革新技术まで～」	東京	7	67
10	26	木	2017年度精製講演会「石油業界を取り巻く激変の時代への提言」	東京	7	114
10	10	火	第17回 回転機研究討論会	東京	5 WS6	272
11	20 21	月 火	第27回日本－サウジアラビア合同シンポジウム	ダーラン	6 (全体 20)	92
11	16	木	鳥取大会市民講座「近未来を支えるメタン」	鳥取	2	56
11	16 17 18	木 金 土	鳥取大会「持続的発展のための石油学」－特別講演, 招待講演 －第47回石油・石油化学討論会 見学会	鳥取	21 215	504 12
11	27	月	2017年度保安セミナー 「各社のシステムと実施事例から学ぶ変更管理」	東京	5	57
11	29 30	水 木	第14回配管技術セミナー 「初級編～プラントの配管材料基準に関する技術の習得～」	東京	11	109
12	5	火	2017石油製品討論会 「石油製品のこれからの最新技術動向とともに考える」	東京	13	108
12	6 7	水 木	第47回装置研究討論会「未来を志向する設備管理」	東京	8 PD2	102
12	15	金	第25回触媒シンポジウム「新しい触媒設計・触媒技術」	東京	5	82
2018年						
1	10	水	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (回転機)	東京	－	75
1	12	金	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	東京	－	54
1	15	月	設備維持規格講習会, 一般講習会 (配管・設備)	京都	－	38
1	16	火	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習会 (計装設備)	東京	－	60
1	20	土	設備維持規格講習会, 一般及び更新講習 (電気設備)	東京	－	28
2	5 6	月 火	第18回日本－クウェート合同シンポジウム	クウェート	5 (全体 23)	80
2	11	日	2017年度設備維持管理士認定試験 (配管・設備, 回転機, 電気設備, 計装設備)	東京 京都	－	412
2	19	月	第43回精製パネル討論会	東京	PD3	161
2	16	金	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	東京	－	69
2	19	月	設備維持管理士更新講習会 (配管・設備)	京都	－	52
3	1	木	第34回計装研究討論会	東京	5 PD1	171
3	5	月	「非在来型」シンポジウム「我が国のポテンシャルを探る」	東京	6	56
3	9	金	第18回電気研究討論会「電気安全～戦略的な保全の取り組み～」	東京	6	99

WS : ワークショップ, PD : パネルディスカッション

以上